

## 社会と核融合クラスター 実用化戦略サブクラスター 核融合炉実用化若手検討会(第3回)のご案内

世話人

大山直幸 (原子力機構)

宮沢順一 (核融合研)

谷川博康 (原子力機構)

笠田竜太 (京大)

藤岡慎介 (阪大)

日渡良爾 (電中研)

ITER 計画が開始され、核融合エネルギー実現に向けて大きな一歩を踏み出しつつあります。それに合わせて、ITER 参加極では、発電実証に向けた検討も開始 されております。日本においても、原型炉へ向けたロードマップの検討が実施 され、2030 年代に発電実証するための様々な課題がリストアップされると共に、原型炉のミッションやその仕様についても議論が開始されようとしております。

本核融合炉実用化若手検討会においても一昨年度以来、2030 年代の原型炉実現 に向けた第一歩として、その時の現役世代となる若手研究者を中心に、核融合 炉における要素技術毎の原型炉への適用可能な技術レベルを概観するとともに、要素技術の境界領域(例えば、炉心プラズマにとってはブランケットやダイバ ータ)との相互関係についても議論してきました。

今回の会合では、今までの議論を一步進めて、2030 年代に原型炉を実現するた めの方法や取り掛かる必要がある技術課題について議論する予定であります。また、現在、本検討会の幹事が中心となつて、第8回核融合エネルギー連合講 演会におけるシンポジウム「若手研究者の考える“20 年で核融合炉を実現する 方法”」を企画しているところであります。このシンポジウムにおいて有意義 な議論を行う事前準備として、本会合においてもそのシンポジウムの内容に関 する検討も合わせて行う予定であります。

2030 年代の原型炉計画で現役世代となる若手研究者の積極的な参加をお待ちい たしております。

以下に、開催要領を記します。皆様のご参加を宜しくお願い致します。

開催日時:平成 22 年 5 月 15 日(土)13:30~17:00(予定)

開催場所: (財)電力中央研究所 大手町本部 第 1 会議室

予定議題:

- 1) 前回までの議論の概要と連合講演会におけるシンポジウム  
「若手研究者の考える“20 年で核融合炉を実現する方法”」についての説明
- 2) トカマク方式における原型炉へ向けた課題
- 3) ヘリカル方式における原型炉へ向けた課題
- 4) レーザー方式における原型炉へ向けた課題
- 5) 共通課題について
- 6) 総合討論・今後の進め方について

○申込先・連絡先:

日渡良爾[(財)電力中央研究所 原子力技術研究所]

Tel: 03-3480-2111(代表)

○参加申込締切:

平成 22 年 5 月 7 日(金曜日)

・核融合エネルギーフォーラム会員のみが参加可能です。事前登録(申込)を必ずお願いします。非会員での参加はご遠慮下さい。

・本会合の録音、録画ならびに発表資料等の公開はご遠慮下さい。  
(講演者他の同意を得た会合報告や発表資料等を核融合エネルギーフォーラムの下記ホームページに掲載しますのでご覧下さい。)

<http://www.fusion.qst.go.jp/fusion-energy-forum/>

・本会合で講演や発表などを希望される方は、タイトルや要旨を添えてお申し込み下さい。但し、時間の制約などご希望に添えないこともありますので、予めご了承下さい。

・旅費の支給はございませんのでご了承ください。

・コメント等がありましたら、参加申込書の該当欄にご記入下さい。

※申し込み・問い合わせとも、核融合エネルギーフォーラム事務局ではありませんのでご注意下さい！

----- 参加申込書 -----

核融合エネルギーフォーラム炉工学クラスター

中性子源サブクラスター平成 22 年度第 1 回会合

(第 1 回核融合ネットワーク IFMIF-EVEDA 作業会合開催)

氏名:

フォーラム会員番号:

所属・職位:

連絡先住所・電話:

電子メール:

---

まだ入会されておられない方はこの機会に是非ご入会下さい。

核融合エネルギーフォーラム入会ご希望の方は、

<http://www.nakajaea.go.jp/forum/>

にアクセスし、サイドメニュー「入会のご案内」をご覧下さい。

入会に当たり会費及び年会費は不要です。

以上